平成 27 年第 2 回評議員会議事録

日時：平成 27 年 7 月 4 日（土） 13：00−15：15
場所：キャンパスイノベーションセンター東京 2 階多目的室 1
出席者：五十嵐教之、植草秀裕、奥部真樹（男女共同参画推進幹事）、尾関智二（広報幹事）、神山　崇、久保田佳基（情報幹事）、栗栖源嗣（庶務幹事）、坂田修身，佐々木聡（次期会長）、清水敏之，菅原洋子、杉山和正（編集幹事）、鈴木守，関根あき子、千田俊哉（行事幹事）、中井　泉、西堀英治、禾晃和（会計幹事）、三木邦夫（会長）、宮原郁子、山本雅貴、吉朝朗
委任状出席者：足立伸一，井上豪，上村みどり，神谷信夫、坂田誠，高田昌樹，鳥海幸四郎，中川敦史，姚　閔，渡邉信久
欠席者：佐藤衛
事務局：古川ひとみ

（五十音順）

議事

報告事項

1　幹事報告

1.1 庶務幹事報告（栗栖庶務幹事）

平成 27 年 3 月 25 日から平成 27 年 6 月 25 日までの会員の異動状況が報告された。6 月 25 日現在、会員数が 1273（個人会員 1252 名、賛助会員 21 社）となった。学会共催等依頼については協賛依頼 8 件が報告された。

1.2 会計幹事報告（禾会計幹事）

平成 26 年決算案が報告された。植草評議員の立ち会いの下、平成 26 年度会計の会計監査が行われ、適正な運用であることが報告された。会費値上げ案に沿った平成 28 年度予算案が報告された。

1.3 編集幹事報告（杉山編集幹事）

会誌（印刷版、pdf 版、デジタルブック版）の発行状況、電子版の新着案内状況が報告された。連載企画 SHELX 入門が掲載中であることが報告された.

1.4 行事幹事報告（千田行事幹事）

平成 27 年度年会（久保田佳基実行委員長、大阪府立大学中百舌鳥キャンパス、平成 27 年 10 月 17-18 日）、平成 28 年度年会（黒木良太実行委員長、茨城県立県民文化センター、平成 28 年 11 月 17-18 日）、平成 29 年度年会（黒岩芳弘実行委員長、広島市・アステールプラザ、平成 29 年度 11 月 23-24 日）の開催準備状況が報告された。その他、平成 26 年度の講習会「薄膜結晶の評価：基礎と応用」の報告と，平成 27 年度の講習会「粉末 X 線解析の実際」（平成 27 年 7 月 13-15 日、東京理科大学神楽坂キャンパス），および「第 3 回対称性・群論トレーニングコース」（平成 27 年 8 月 3-7 日、大阪大学吹田キャンパス）の準備状況が報告された。

平成 27 年度年会の久保田実行委員長より、外国人観光客の増加に伴い早期の宿泊予約を勧める旨の補足があった.

1.5 情報幹事報告（久保田情報幹事）

定特に報告するべき案件はなかった。

1.6 広報幹事報告（尾関広報幹事）

メール通信配信を 5 月に開始したことが報告された。

1.7 男女共同参画推進幹事報告（奥部男女共同参画推進幹事）

男女共同参画学協会連絡会第 13 期運営委員会（平成 27 年 4 月 27 日開催）の内容が報告された。

2 AsCA 関係

AsCA 評議員の西堀評議員より、AsCA2015 の準備状況が報告された。

3 日本学術会議関係

日本学術会議結晶学分科会の菅原評議員より、今後の会議開催予定が報告された。

審議事項

1. 会員異動

平成 27 年度第 1 回評議員会以降の新規入会者の紹介、入会申込書類の回覧があり、全ての入会が承認された。

2. 共催・協賛・後援

共催等依頼について協賛 8 件が承認された。

3. 平成 26 年度決算、平成 28 年度予算案

平成 26 年度決算が承認された．会員会費の値上げを見込んだ平成 28 年度予算が承認された。

4. 会員会費の値上げ幅について

平成 26 年度第 4 回，平成 27 年度第 1 回合同評議員会で承認された会員会費の値上げ方針に基づき，会員会費の値上げ幅を審議した結果，正会員 10,000 円，会誌の郵送を希望する学生会員 5,000 円（ただし，会誌の郵送を希望せず on-line で会誌を読む学生会員は 2,000 円），永年会員 4,000 円とすることが承認された．その際，吉朝評議員より，学会運営の経費削減案も併せて検討するべきであるとの指摘があり，今後継続して検討していくことが確認された.

5. 学会賞

平成 27 年度学会賞選考委員会の答申を受け、三木会長より受賞候補者として 3 名の会員の推薦がなされ、承認された。各賞の受賞者、受賞題目は以下のとおりである。

西川賞：飯島澄男　名誉会員（名城大学理工学研究科）

「高分解能電子顕微鏡を用いた単一ナノ構造体の精密構造解析とカーボンナノチューブの発見」

学術賞：吾郷日出夫　会員（理化学研究所放射光科学総合研究センター）

「X 線自由電子レーザーを使った無損傷高分解能タンパク質構造解析法の開発」

進歩賞：菅倫寛 会員　（岡山大学大学院自然科学研究科）

「酸素発生型光合成を司る光化学系 II 複合体・光化学系 I 複合体の結晶学的研究」

6.　AsCA'15 若手派遣

栗栖庶務幹事より、本年度はリガクファンドへは寄付を頂かない年にあたっているが，これまでの留保分を活用した AsCA'15 への若手派遣するプログラムの概要が提案され、基本方針が承認された。運用方法に関しては、禾会計幹事を中心に今後詳細を検討して迅速に募集を開始する事とした。

7.　新定款（案），細則および規程（案）について

栗栖庶務幹事より、平成 26 年度第 4 回，平成 27 年度第 1 回合同評議員会で承認された学会法人化の方針に基づき，新定款（案），細則および規程（案）が紹介された．慎重審議の結果，以下の主な変更点を含めて新定款（案），細則および規程（案）が承認された．

（主な変更点）

１）監査役の新設（定款案，第 6 章，第 20 条（２））

法人には，事業内容と財務状況を監査する監査役の設置が必須．一名が欠席しても会議が成立するよう，二名を新設する事とした．

２）事業年度の変更（定款案，第 9 章，第 35 条）

法人は，事業年度終了後，一定期間内に評議員会を開催し，事業年度報告および決算を行う必要がある．4 月の評議員会をこれに充てる場合，3 月末では決算が間に合わないので，事業年度を 2 月～翌年 1 月までと変更する．これにより，これまでと同様の評議員会日程で事業を運営可能．また，2016 年 2 月に新法人を設立し，現在の任意団体としばらく併存させることで，スムースな移行が可能となる．

３）会長に事故がある時の対応を庶務幹事に一本化（定款案，第 7 章，第 32 条）

これまでは,『会長に事故あるときに会長の指名する評議員として幹事を兼ねる評議員の最年長者』が指定されていた．法人化に伴い，庶務幹事を代表権のある幹事とし，会長に事故があるときの対応を庶務幹事に一本化する．

8.　生体高分子専用高分解能中性子結晶回折計（J-PARC）設置要望書について

栗栖庶務幹事より，日本原子力機構より「生体高分子専用高分解能中性子結晶回折計の J-PARC への設置要望書」について依頼があった旨の紹介があった．要望書文案を検討し，三木会長名で文部科学大臣宛に提出することが承認された．

9.　その他

運営経費削減案について，会誌出版経費削減以外にも業務委託費や，会議など削減可能な運営経費を継続して検討することとした．また，その議論の過程で「会誌の将来のあり方 WG の設置」が提案され，承認された．WG は会長の諮問により設置されることとし，電子ジャーナルのあり方，編集・印刷経費や適切な総ページ数などを検討することとした．WG グループのメンバーとして，菅原評議員，神山評議員，植草評議員，杉山編集幹事，禾会計幹事が指名された．

10.　次回評議員会日程

次回（平成 27 年度第 3 回）評議員会の日程、会場について、平成 27 年 10 月 16 日(金)16:00

–18:30、大阪府立大学（部屋未定）が提案された。最終的な、日時・場所は、決定次第連絡することとした。

以上